

文書管理システム連携

IPKNOWLEDGE文書管理は行政文書のライフサイクル全体をサポートします。現用文書はMusethequeの情報公開システムとデータ連携し、住民への情報公開へ対応できます。また、保存期間が満了後の非現用文書は歴史的公文書として住民の閲覧や活用に寄与することができます。

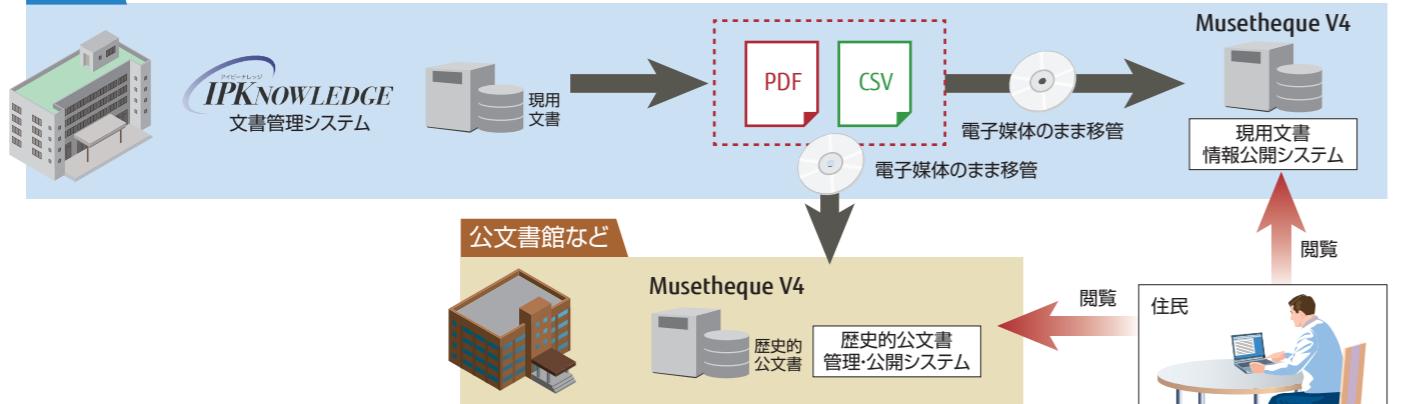
文書のライフサイクルすべてをシステム化

- ・文書の作成から破棄・移管まで一元管理。
- ・今後増える電子文書の管理にも柔軟に対応。

情報公開システム連携

- ・現用文書や歴史的公文書の公開としてMusethequeと完全連携し、作業ミスの防止と作業時間の短縮を実現。
- ・連携は文字情報だけでなくPDFなどの電子データもそのまま移管可能。

自治体



Musetheque V4機能体系

受入管理	受入情報検索／登録／修正(一括)／削除、一括登録／修正、リンク一括登録、ダウンロード
収蔵品・目録管理	収蔵品・目録情報検索／登録／修正(一括)／削除、一括登録／修正、リンク一括登録、各種項目型対応、地図連携、ダウンロード、帳票出力
メディアファイル管理	メディアファイル情報検索／登録／修正(一括)／削除、一括登録／修正、リンク一括登録、各種フォーマット対応、ダウンロード、外部デバイス画像読み込み、クレジット登録
展示・貸出・修復情報管理	展示・貸出・修復情報検索／登録／修正／削除、一括登録／修正、リンク一括登録、重複貸出チェック、ダウンロード

統合検索	各種管理情報横断検索
情報公開*1 (一般利用者向け)	ピックアップ表示、簡易／詳細検索、横断検索、カテゴリ検索、サムネイル表示、画像拡大表示、各種ブラウザ対応
システム管理	ユーザー管理、グループ管理、各種権限管理、お知らせ管理、辞書管理、階層型辞書管理、異体字・類義語管理
その他*1	電子透かし、デジタルビューアー、高精細画像表示、展示ガイド、外部連携インターフェース、文書管理システム連携

*1 オプション製品

動作環境

サーバ	
ハードウェア	FUJITSU Server PRIMERGYシリーズ
OS	Red Hat Enterprise Linux7 Windows Server 2012R2/2016

クライアント	
ハードウェア	FUJITSU PC(ESPRIMO/LIFEBOOK)
OS	Windows® 7 Professional (Internet Explorer 11 以上) Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro

※macOS(Safari)にも対応しております。

- Musetheque、Interstage、Shunsaku、IPKNOWLEDGEは、富士通株式会社の登録商標です。
- ScanSnapは、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。
- Windows、Windows Server、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Internet Explorer 11、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red HatおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- mac OS、Safariは、米国および他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は一般的に各社の商標または登録商標です。
- 印刷の都合により、実際の色とは若干異なる場合があります。
- このカタログに掲載されている内容については、改善などをため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

商品情報ページ <http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/social/museum/musetheque/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通Japan お客様総合センター（総合窓口）

0120-835-554

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通Japan株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

このカタログには、FSC®森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。

FN0111-3-2017年9月AP

FUJITSU 文教ソリューション

ミューズテク
ブイフォー
Musetheque V4

デジタルアーカイブシステム



shaping tomorrow with you

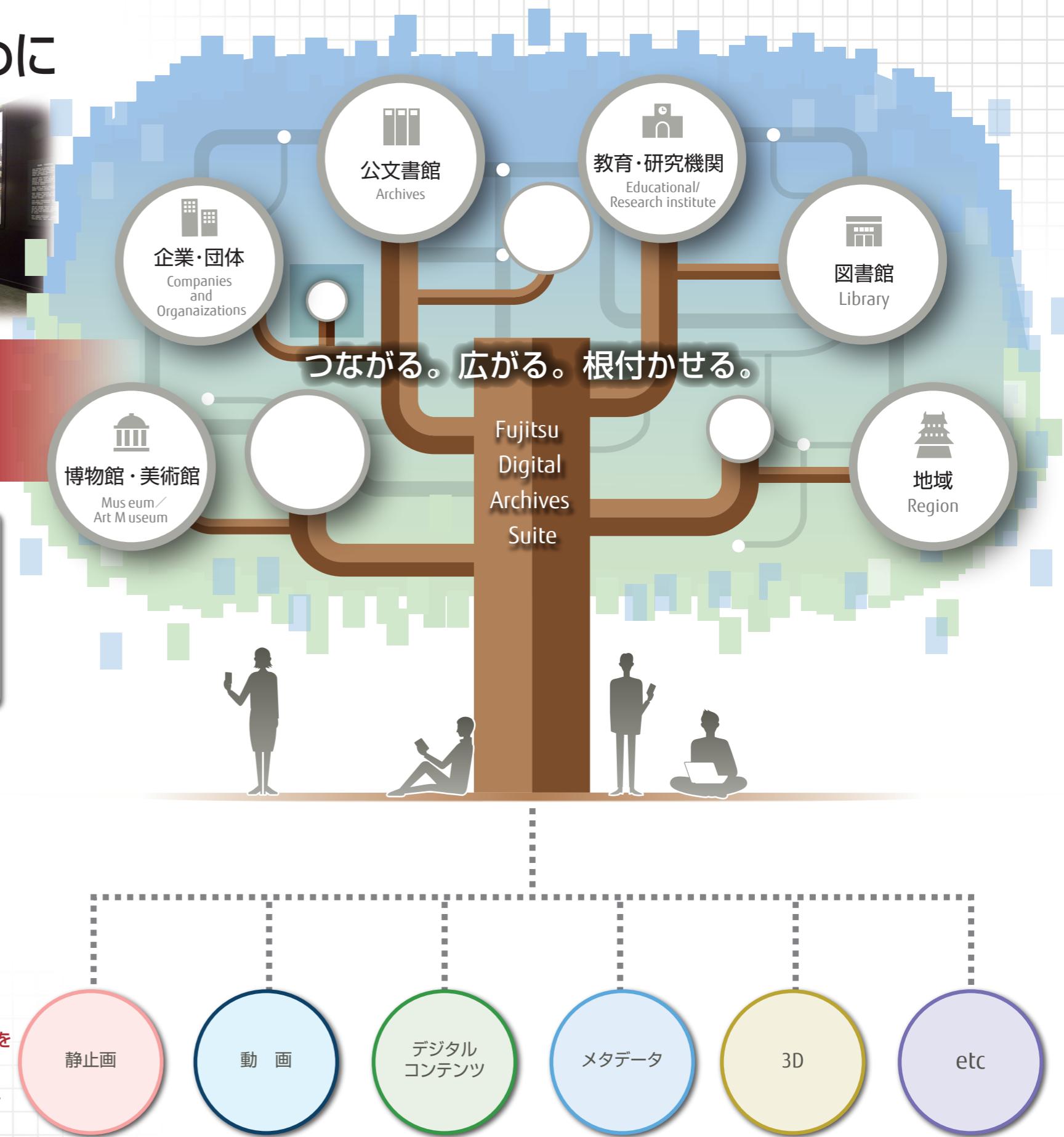
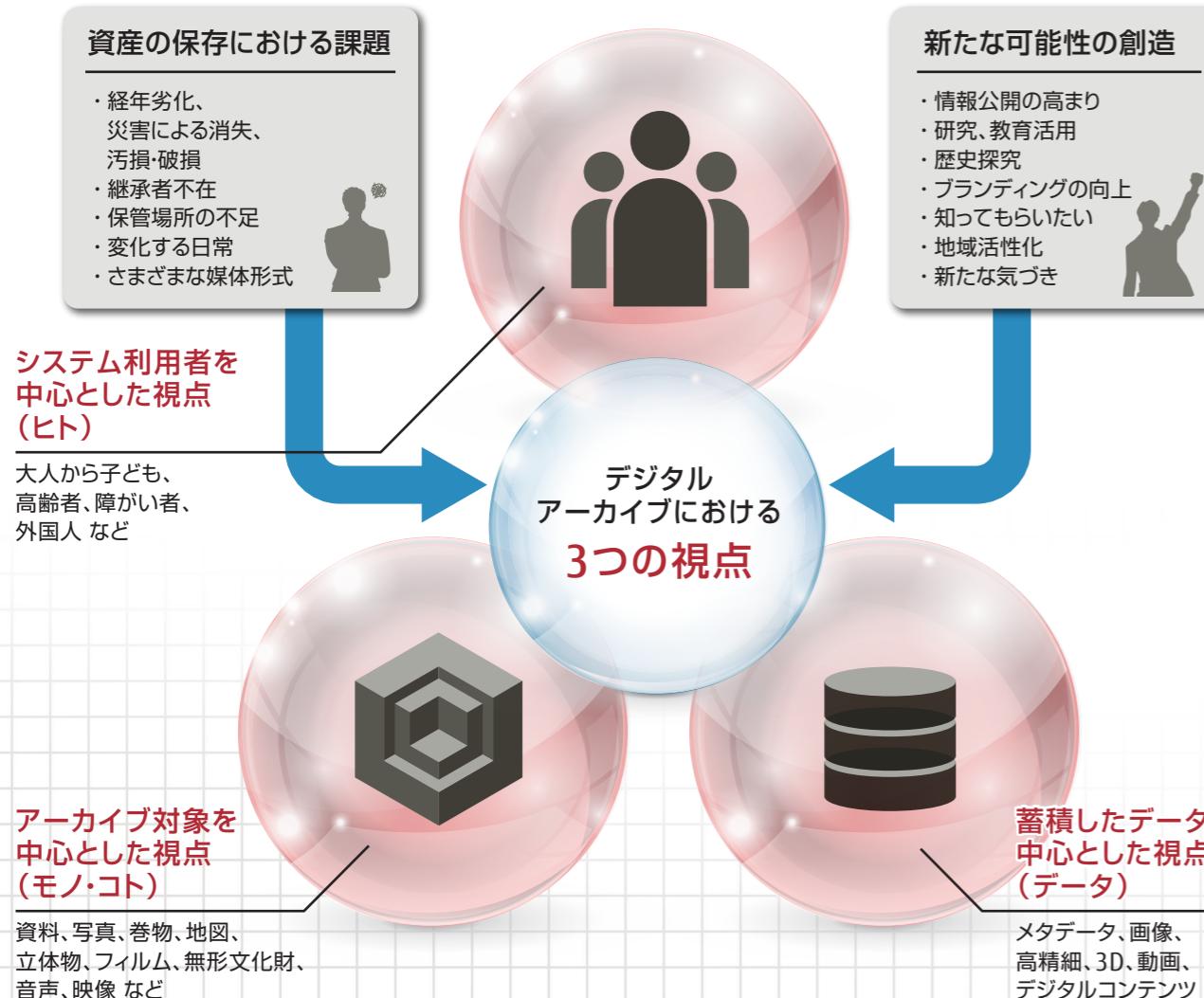
社会とお客様の豊かな未来のために

つながる。広がる。根付かせる。 過去の資産を未来の豊かな学びのために

「自然および人類の営みから生み出される有形・無形の各種資産をデジタル化することにより保存・蓄積し、ICTを活用して、次世代に継承していく仕組み」
富士通ではデジタルアーカイブをこのように定義し、人類が蓄積した資産を未来の豊かな学びへつなげる仕組みを追究していきます。



資産の保存における課題の解消と
新たな可能性の創造が期待できるデジタルアーカイブシステム。
富士通は3つの視点で実現し、
現在だけでなく次世代に向けて豊かな学びへつなぎ続けていきます。



博物館・美術館・公文書館・図書館・教育機関・企業・地域の 収蔵品情報を統合管理し、画像の電子化をはじめとした業務の効率化と デジタルアーカイブの情報発信までをトータルにサポートします。

各施設および各機関では、貴重な収蔵品情報を蓄積したり、
情報公開や情報の活用が求められています。

Musethequeは、多様な資料に対して
メディア情報を含めた柔軟かつ統合的な管理から
来館者やインターネット利用者に対して効果的な
資料情報の提供までをワンストップで実現できる
デジタルアーカイブシステムです。



Flexibility



柔軟性

さまざまな分野の資料情報を一括管理し、総合博物館の収蔵品
管理やデジタルアーカイブにも柔軟に対応することができます。

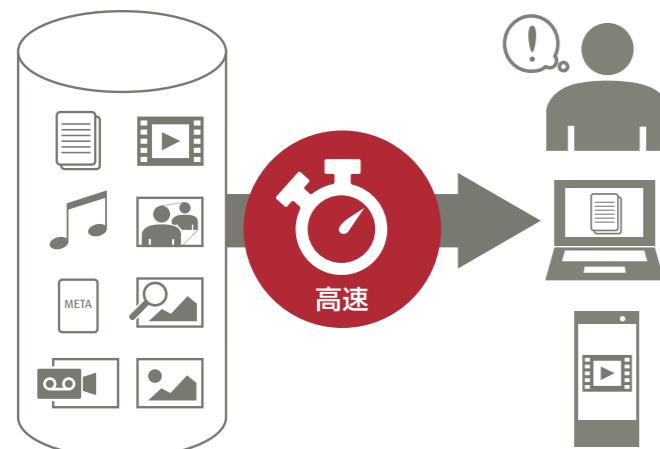
項目管理ではひとつひとつに規則という概念を導入し、精度の
高い情報登録や多彩な検索、使いやすさを実現します。

メディアファイル管理では画像・動画・PDFなどの多種多様な
ファイルを登録管理、写真だけでなく無形文化財における大容量
動画なども管理できます。またメディアファイル単位にも項目を設
定し、文字情報を登録することができます。

各項目やメディアファイルには文字数、データ件数、データサイズ
などの制限が一切ないため必要な情報がすべて登録できます。

また、多言語管理にも対応しており情報公開や展示ガイドなど
と連携することで外国人向けサービスを強力にサポートします。

High Speed



レスポンス

円滑な業務運用や利用者サービス向上のためには、システム
レスポンスは非常に重要な要素です。

Musethequeはシステム全体の応答性能を高める仕組みを多く
備えることによりストレスのない快適な動作を実現しています。

特に検索スピードを重視し、膨大な収蔵品情報をフルテキストで
高速かつ安定に検索するため、検索エンジン「FUJITSU Software
Interstage Shunsaku Data Manager」を採用しました(国内特許
出願済み)。運用後にデータ件数が極端に増えた場合でも検索
性能を維持・強化できる仕組みとなっています。

他にも古地図などの大容量画像などでは、高速かつ鮮明な
表示を実現し、調査研究業務に効果を発揮します。

Efficiency

一効率化一

収蔵品情報の統合的な管理から蓄積した情報の公開までをワンストップで実現でき、
効率的にデジタルアーカイブを構築することができます。

情報登録においては漢字・よみ同時入力やブルダウンや各種辞書マスタからの引用、
地図からの位置情報登録など多様な情報が入力支援機能により効率的に行えます。登録し
た情報は簡単にインターネットや館内端末で閲覧することができます。

画像登録ではスキャナやデジタルカメラなどの外部デバイスとの連携による直接読み込み
にも対応し、お客様自身での効率的な画像作成が可能となります。

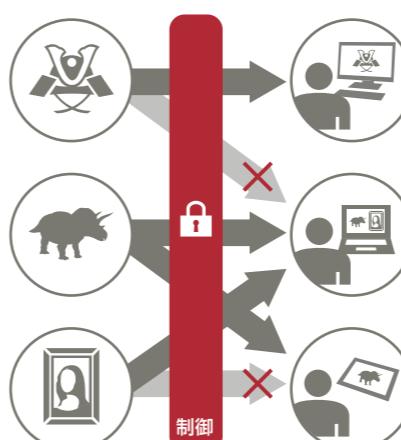
また、情報をまとめて登録できる一括登録ではExcelファイルからの文字情報だけでなく
各種メディアファイルにも対応しています。

貸出・展示・修復業務管理では、収蔵品情報とシームレスに連携し登録作業を飛躍的に
向上させることで日々の業務を強力にサポートします。

操作面ではユニバーサルデザインを意識し、ユーザビリティに配慮するなど使いやすさと
見やすさにこだわりました。タブレット端末に対応することで、新たな業務スタイルによる
運用をご提案します。

Security

一安全性一



貴重な情報を管理しながら多くの方が安全かつ安心して利用していただくことは非常に
重要であるとともに、システムには高いセキュリティが求められます。

システム利用時の職員認証では、操作可能な業務や各収蔵品へのアクセス権限を細かく
設定でき、データの閲覧をはじめ誤った更新や削除などが発生しないよう制御できます。

また、システムを利用するクライアントにはプログラムやデータなどを残さないWebシ
ステムならではの仕組みにより高いセキュリティを確保します。

情報公開においては収蔵品単位・メディアファイル単位で公開指定ができるため、データの
一元化ときめ細かい情報提供が可能となります。

公開対象となる画像については、著作権を保護するため目に見えない電子透かしや、目に
見えるクレジット情報を埋め込むことができ、不正利用の抑止に効果を発揮します。

動作環境としては、自治体や教育機関・企業がもつ仮想基盤への構築および運用が可能
で、お客様環境で情報を管理することで安心感と安全性を両立できます。

さらに安全性を高める方法として、収蔵品管理データベースとインターネット公開用の
データベースを分けた運用も可能です。

Extendibility

一拡張性一



システムの拡張性は、データベースに登録された収蔵品情報を活用した新たなサービス
や様々なニーズに対応するうえでも重要です。

来館者用端末やインターネットへの公開をはじめ、展示ガイドへの拡張が可能であり、
外国人を含めた多くの利用者に対するサービス向上に貢献します。

収蔵品の公開においてもデジタルビューワーによるリアルな見せ方をはじめ、高精細画像
表示・説文表示など収蔵品が持つ新たな価値を提供します。

また、今後重要となる行政文書・歴史的公文書の管理では文書管理システムとのシーム
レスな連携を実現し、電子文書を含めたスムーズな移管と公開を可能とします。

システム間連携を実現するための各種プロトコルもご用意しており、インターネットによる
横断検索や各関係機関へデータ送信などを行う事ができます。

さらに、複数施設や関連部署などにおけるシステム共同利用にも柔軟に対応でき、施設
間の連携をはじめ収蔵品の集約や導入コスト削減など多くの効果が得られます。

管理系画面

収蔵品管理画面

人文系管理画面

自然史系管理画面

Musethequeでは収蔵品の分野に合わせた適切な項目管理が可能です。それぞれの分野に必要な項目を設定し情報入力することで無駄のない高い精度の情報管理を行うことができます。

項目名はもちろん、必須項目やブルダウ選択・各種マスター引用・画面表示制御などの詳細設定が可能です。

ログインユーザにより各分類単位において、参照・更新・削除・

ダウンロードなどのアクセス権限が設定でき、情報の共有と安全なデータ管理を両立させることができます。

それぞれの収蔵品においては、画像などのメディアファイルが管理可能で、画像数やファイルサイズ、種類などの制限は一切ありません。論文や各種報告書・音声や動画など、あらゆるメディア情報の一元管理を実現します。

公開系画面

インターネット検索画面

簡易検索画面

資料詳細画面

データベースに登録された収蔵品情報は、公開指示によりインターネットや展示ガイドへ簡単に公開することができます。

インターネット検索では誰にでも利用しやすいユーザーインターフェースを採用し、トップ画面ではおすすめの資料を表示するピックアップ画像の表示をはじめカテゴリによるワンクリック検索など、資料の名前などがわからない方でも簡単に情報の閲覧ができます。

分野を跨いだフリーワード検索や、各分野ごとの項目での詳細

検索なども可能で、初心者からベテランの方まであらゆる層の検索に対応しています。異体字や類義語による検索対応により、検索漏れだけでなく新たな情報の発見などの気付きを利用者に与えることができます。

外国語切替表示やスマートフォン・タブレット端末向け専用画面にも対応しており、いつでもどこからでも世界中の利用者がデジタルアーカイブを楽しむことができます。

一括修正画面

収蔵品データベースに登録された情報を、1件ごとではなくまとめて修正することができます。

例えば、収蔵品の棚卸による場所情報の一括変更や、インターネットでの情報公開・非公開の設定など様々なケースに対応できます。

操作面ではExcelと同じように該当するセルに直接入力することができ、ショートカットキーも右クリック操作・ドラッグ操作による内容の複写も簡単に行えます。別のExcelシートをそのまま貼り付けることも可能です。

また、修正対象項目をテンプレートとして保存・呼出することができるため、定例的なデータ一括修正作業も、安全かつ確実に行うことができます。

デジタルビューワー

デジタルビューワーは、専用画面によるリアルな収蔵品情報が表示できる機能です。

テンプレートに合わせた情報登録によりリアルタイムに画像などを簡単に表示することができ、外部デバイス連携を活用した画像登録と組み合わせることで短時間で本格的なデジタルアーカイブを作成することができます。

基本情報の表示をはじめ全画面のサムネイル一覧表示や高精細画像表示、訳文表示・検索など資料の価値を高める各種サービスを利用者に提供します。



外部デバイス連携

メディアファイル管理においては外部デバイス(スキャナーやデジタルカメラなど)と連携し、読み込んだ画像をそのまま登録可能です。

例えば、カラーイメージスキャナ ScanSnapと連携すればA3サイズまでの資料を画像またはPDFファイルとして直接登録することができます。

オーバーヘッド読取方式により、資料を傷めることなくスキャンができる、自動切り出し(トリミング)、歪み補正なども可能です。

古文書なども全ページのスキャンが短時間で行え、デジタルビューアーによりリアルな電子文献アーカイブとして公開することができます。

展示ガイド

展示ガイドは、来館者が収蔵品の解説を詳しく見たり、音声による説明を聞いたりすることで収蔵品についてより理解を深めることができる機能です。

来館者が持つスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスがそのまま使えるうえ、ブラウザのみで動作するため、面倒なアプリケーションのインストールは一切不要です。QRコードによるトップページのアクセスにより、外国の方でもすぐ利用できます。案内は多言語にも対応しており、様々な外国語での解説案内が可能です。

ガイド内容はMusethequeによる作成が可能で、対象となる収蔵品情報も登録済の情報から選択できるなどシームレスに連携します。また解説用メディアファイルは音声だけでなく動画も利用できるため、文字情報では伝えにくい内容もわかりやすく伝えることができます。